

## (林彪 向題等 首相発言)

時代の流れに叛いていく輩は当然いるでしょう。  
中国の場合は、人民戦争で勝利を勝ち取り農村から  
都市を包囲して20年ばかり社会主義の革命をやった。  
林彪のような副主席に名前から、毛主席に叛逆者が  
出てきた。

歴史的には、井冈山時代から毛主席と一緒に闘  
ったが、思想の面では毛主席と合わず、個人主義が強  
かったのです。最大の戦役である東北の戦役では、計  
画の人数は50万の大部隊を、壊滅したのは林彪が  
思っていたより、彼は毛主席と一緒にいた。彼は  
腹心の部将だった。毛主席は何度も何度も命令  
を出したのです。それからやっと動き出したのは、  
延安から毛主席が直接指導しから一ヶ月余りで、壊滅  
された。私たちの軍隊が殺られて、蒋介石の  
軍隊が勝っていることを認識できなかったのです。

毛主席の戦略配置を破壊していった。毛主席は  
彼の意見を聞かずにいた。林彪は毛主席を暗  
殺しようとしたのです。

中国の軍隊にしても、人民にしても、党にしても、勝利を  
勝ち取った。彼の陰謀であっても、彼の脱走  
しようとしたことは思いつきませんでした。彼を鼓舞し  
ようとしたが、彼は不安になり、厳吉に逃げた。9月13日  
の木曜日のこと。これは、アメリカの消息が1週間早く  
一斉に伝わった。次が日本、ソ連はダメだった。  
ソ連は初め判りませんでした。ソ連の領土が現場に判  
りて思いつき判りませんでした。蒙古の外交部は中国の  
大使を呼んで聞いた。これは理屈だった。

後で外国のニュースが流れ、ソ連が疑いを持ち、埋蔵の場所が定まり、検査の上、林彪を確認された。林彪はソ連に病気の治療に又変っていたのです。元ソ連が代念、残念、残念、残念、残念とくりが返された。国には何もありません。キツクシキーが来り、話し合いされた。蒋介石はもって後に判りた。蒋介石の学生にも判れたから、蔣は大変な話だといいましたが、耳に入ったとしても、既に全部、織り込んでいた。

中国はいまや蒋介石時代の軍閥の時代と変わって、おわり、交り、判りた。崗錫山や馮玉祥等と抗日戦争前は、軍閥との戦争は止まらなかつた。これは、竟の命令で説得し得なかつたので、蒋介石の天下は格やかにはありませんでした。

いかに、最初、抗日戦争終了当時は、アメリカの援助で威張っていた。五項目、四項目の綱領を出された。毛主席は重慶合談を行ない、ヤルタ協定は蔣が承認し、条約を締結されたが、人心を失っていき、500万の軍隊は3年余りに織滅にしまれた。

林彪の出来事が起きて、蒋介石は甚だたに悲しむ。しかし、竟林全体に公表し、学習をさせた。人民に公表し、学習をさせた。これ、現在、外国の友人にも話せるようになった。ブレジネフは残念がり、蒋介石は失望した。東条英機も初めは有恩人になっていましたが、最後は失敗しましたね。苦難をもたらされたのは、日本の人民にあり、アジアの人民に判りた。毛主席は南田三郎さんにも判りた。日本の軍閥主義に

感謝しているという話を……これは反面教師です  
その第一は蒋介石であり、第二は日本の軍国主義に  
あり、第三はアメリカの帝国主義です。

これにより中国人民は自覚いたしました。明治維新  
の時代は、未だ支配階級がはびこっていました。

農村蜂起はありましたが、いい指導者がなく南米を  
取りましたが北上できませんでした。1851年～1863年  
までの一時のことでした。

英仏が中国に攻めてきて延命院が焼き払われ  
当時の皇帝は死んでしまいました。1861年のことです。  
その後、西太后が40年間支配いたしました。それが  
暗黒の時代であり、日本の明治維新の時代でした。  
1861年のことです。

皆さん方は、明治維新のあと、軍国主義が抬頭し  
中国が弱まっていたので、日本の勝利がなやなくもな  
りました。1894年の中日戦争で勝利しました。

その後1904年、ロシアとやり、ロシアはスエズ運河が  
通れず、アフリカの希望峰を回って遠回りをしてました。

バルチック艦隊を破った東御が軍神と呼ばれ  
軍国主義崇拜思想が生まれ、それがたまたま第二次世  
界大戦で失敗しました。中国人民は自覚いたしました。

日本に教訓を学ばれました。平和五原則は、中国のみの  
有利だけでなく、世界の人民に貢献し得ると思ひます。

社会党の成田氏に自衛のための努力について  
話しました。中曽根氏に話したいと思ひますか  
民族の自衛の気概も持っているとはいいことです。

この辺りの中州間は四派の連合政府です。

仲意(おんい)が公(こう)要(よう)の時(とき)、野(や)見(み)は意(い)見(けん)を批(ひ)判(はん)同(どう)意(い)するから、権(けん)力(りき)は同(どう)意(い)を推(お)し進(しん)め、—— 正(ただ)しい意(い)見(けん)、積(せき)極(ごく)的(てき)意(い)見(けん)を出(だ)し、田(でん)中(ちゅう)首(しゅ)相(さう)にそれを受(う)け入(い)れさせることです。それを受(う)け入(い)れれば前(まへ)進(しん)です。

人(ひと)民(たみ)の意(い)見(けん)を促(うなが)し、政(せい)府(ふ)に実(じつ)行(こう)させることは、社(しゃ)会(かい)の改(かい)造(ぞう)に役(やく)立(た)ちます。